

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送り

/5

四 構成

/6

五 部首

/6

六 対義

/6

七 同音

/7

八 誤字

/7

九 四字

/6

十 書取

/12

合計

/71

合格のめやす
50問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 友だちから吉報がとどいた。

きつぽう

② みんなの元気を祈る。

いのる

③ おぼれている人を救う。

すくう

④ ふかい峡谷に川がながれる。

きょうこく

⑤ 詳細は後でお知らせします。

しょうさい

⑥ しずかに読書をたのしむ。

どくしよ

⑦ 歳末の商店街はにぎやかだ。

さいまつ

⑧ 冒険の物語を読む。

ぼうけん

⑨ 畑を耕す。

たがやす

⑩ ないている子ねこを哀れむ。

あわれむ

⑪ 湾岸の道路を車が走る。

わんがん

⑫ 友だちに手つだいを依頼した。

いらい

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 式

6

画

② 迎

7

画

③ 髪

14

画

④ 芸

7

画

三 線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい
くるまがとまる。

止
まる

① 太陽が西にかたむく。

傾
く

② 体重をはかる。

量
る

③ とびらをひくとあいた。

引
く

④ まちがいをみとめる。

認
め
る

⑤ 毛糸でマフラーをあむ。

編
む

四 次の熟語の組み立ては、「」の「ア」「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの（れい 岩石）

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの（れい 左右）

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの（れい 青空）

エ 下の漢字が「く」を「く」にあたるもの（れい 読書）

① 施錠

エ

② 抑制
ア

③ 逮捕
ア

④ 昇降
イ

⑤ 粗雑
ア

⑥ 狽犬
ウ

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)休
やす
む才
(てへん)

①

交
かん
換

②

控
ひか
える疒
(やまいだれ)

③

疾
しっ
走

④

口
癖
ぐせ言
(ごんべん)

⑤

訂
てい
正

⑥

譲
ゆず
る

六

反対の意味の「ことばを」、「[から
えらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「あいご むこ しつじゅん ぐうぜん あくま
ふそく」

①

必然
⇄
偶然

②

超過
⇄
不足

③

嫁
⇄
婿

④

虐待
⇄
愛護

⑤

天使
⇄
悪魔

⑥

乾燥
⇄
湿润

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 支離滅

裂

ばらばらで、まとまりやすじみちがないこと。

② 奮

勵

努力

氣力をふるいおこして、一生けんめいにつとめること。

③ 克

己復礼

自分のよくない気持ちにうちかち、礼ぎを守ること。

④ 鷄

口牛後

大きな組織の下より、小さな組織の上に立つほうがよい。

⑤ 緩

急自在

ゆるめたり急いだりを、思いのままにすること。

⑥ 順風満

帆

ものごとが、思いどおりにうまく進むこと。

+

線のことばを、漢字で書きましょう。

① ゲームのまほうのえいしょうをおぼえた。

詠唱

② ゴールした選手にしょうさんがおくられた。

称賛

③ くつのひもをむすぶ。

結

④ 山でたぎぎをひろう。

薪

⑤ ひさしいぶりに会った。

久

⑥ いばらきけんにすんでいる。

茨城県

⑦ がようしに花のえをかく。

画用紙

⑧ ホールに声がはんきようする。

反響

⑨ 友だちを先生にしょうかいする。

紹介

⑩ じどうかんで本をよむ。

児童

⑪ コマがじくを中心にまわる。

軸

⑫ えんそくのじゅんぴをする。

準備

